

市民まちづくり活動支援事業

補助事業の審査も市民の目で

自主的にまちづくり活動を行う市民団体に対し、補助金を交付する市民まちづくり活動支援事業。前回紹介した『けやき公園市民音楽祭』、『太鼓フェスティバル』、『けやき公園七夕まつり』などのイベントのほか、『おちあい花菖蒲園植育の会』や檜山、常盤、鶴形で行われている地域のまちづくり活動などの運営費用の一部にも、この補助金が充てられています。

今後の市民によるまちづくり活動の支援のあり方について、まちづくりの主役となる市民の意見を制度に反映させようと、公募を含む市民7人を委員にし、数回にわたり懇談会を行いました。

●市民参画を進めることで、補助の公平性、透明性を図る

懇談会で補助団体との意見交換や現制度の課題について話し合いを行った結果、事前の公開プレゼンテーションと事後評価により助成の可否を判断することや、行政だけでなく市民も補助の可否の判断にかかわれる仕組みがあればいいといった意見が出されました。

市では、懇談会で出た意見を踏まえ、市民活動に対する支援のあり方を合併協議の場で提案していきます。新市では、市民の評価に基づき市民の自主的な活動を支援



していける、まさに市民が主役となってまちづくりを展開していくまちを目指します。

まちかど

ウォッシュング

色鮮やかなつつじが一面に!!

5月20日(金)～6月5日(日)、能代公園つつじまつりが開催されました。



～さわやかな風の吹く
新緑美しいけやき公園に、
心地良い音楽♪～

5月29日(日) 第3回けやき公園市民音楽祭



のーろ道遙

歴史と民俗のあいだ

71

馬の絵(十) 「羽立・八幡神社(一)」

檜山羽立に八幡神社があります。羽立は古くは柎沢村ともい、飛び雀三十郎というすばしっこい又鬼狩人の話が伝わっています。八幡神社も古くは薬師堂であり、今でも薬師様と呼ぶ人もいます。部落の裏手の小高いところに社殿があり、付近には太平山の石碑や唐松堂もあります。

その八幡神社には何枚かの絵馬が奉納されています。左の絵馬は安政五年十二月八日に渡辺藤五郎が奉納した板絵ですが、周りに額を付けていた跡があり、もとは大絵馬だったのでしょうか。横六十二センチ、縦三十四センチの大きさです。

絵師は五十嵐蠹仙です。右脇に「法橋蠹仙筆」とあります。

蠹仙については平成十四年十月二十四日号「築法師太平山講(二)」で紹介しました。三吉大神を描いた絵で、亡くなる四カ月前の作品でした。羽立の絵馬はそれより六年前のものです。武者絵を得意とした蠹仙らしく神馬の描きようが凝っています。鞍の下に敷く大滑を白く大きく描き、足を置く鎧を下げ、尻にあてる鞆を赤く描き、手綱を鞍の前輪に結んでいます。こうした細部にわたる目配りは蠹仙ならではのものです。木の根元に繋がれた奉納馬です。(古内)

